

しみず人のONとOFF



第7回

西川忠雄 施設長
のONとOFF



現場感覚とチャレンジ精神を兼ね備えた人材育成に奔走

西川忠雄施設長は、この道10年のベテラン。「遠慮して要望を口にだされない利用者さんもおられますので、若い職員には、ニーズを自然と察知できる感覚を養ってほしいですね」

チャレンジ精神を持って取り組む姿勢が重要と考える西川施設長。10ある事業所内を巡回し、現場職員と対話を重ね、新しいサービスの創出に努めている。こうした姿勢が刺激となり、活気ある職場づくりへとつながっている。

●本人DATA

平成11年、京都伏見しみず病院グループに入職。京しみず、第二京しみずの事務長を経て、平成20年12月、社会福祉法人弥勒会の施設長に就任。柔らかな物腰とあたたかな人柄で、井手町唯一の高齢者総合福祉センターを牽引する。

ON

OFF

仲間と楽しむ陶芸づくり 既製品にない魅力に夢中

10年前に陶芸をはじめたという西川施設長。月2回、陶芸教室で顔なじみの仲間と作品づくりに没頭する時間が何よりも楽しみだ。手ひねりやるくろで、丁寧に形を整え、ひとつの作品が完成するまでに約2ヶ月がかかる。「土はデリケートなものですから、ちょっとしたことで歪んだり、壊れてしまいます。そういう意味では、利用者さんへの接し方につながる気がします」

焼き上がった作品はどれも個性豊か。「既製品にない味わいがたまらないです」と西川施設長は目を細める。

